

目次

総説	三
----	---

第一部 近江の仏像の成立——八世紀から九世紀における近江の仏像——	
-----------------------------------	--

総論	一五
----	----

第一章 湖南省・善水寺金銅誕生釈迦仏立像について	三七
--------------------------	----

第二章 長浜市木之本町・鶏足寺木心乾漆造十二神將立像の制作年代について	五一
-------------------------------------	----

第三章 長浜市高月町・日吉神社木造千手観音立像をめぐって	七四
------------------------------	----

第四章 己高山寺の草創	一二四
-------------	-----

第五章 長浜市木之本町・鶏足寺木造十一面観音立像について	一三九
------------------------------	-----

第二部 比叡山寺の仏像——延暦寺の草創から発展と造像——	
------------------------------	--

総論	一五七
----	-----

第一章 円仁帰国後の延暦寺の造像について——現存作例の検討から——	一六五
-----------------------------------	-----

第二章 東近江市(旧蒲生町)・梵釈寺宝冠阿弥陀如来像の制作時期	一八七
---------------------------------	-----

第三章	長浜市木之本町・金居原薬師堂の木造伝薬師如来立像について……………	一九八
第四章	石山寺木造阿弥陀如来坐像について……………	二三〇
第五章	長浜市木之本町・石道寺の造像……………	二四七
第六章	甲賀市甲南町・正福寺の金剛力士像とその周辺……………	二八一
第三部	近江の初期神像——仏像と神像の狭間で——	
総論	……………	三〇三
第一章	甲賀市・永昌寺木造地藏菩薩立像について……………	三一四
	——天台系僧形像についての一試論——	
第二章	栗東市・金勝寺木造僧形神坐像について……………	三四一
第三章	米原市・惣持寺の木造天部形立像について……………	三五五
	——伊吹山、荒ぶる神の信仰と造形——	
初出一覧		
図版一覧		
あとがき		
索引(人名・寺社名・像名・史料名)		

近江の古像

総 説

滋賀県は日本列島、本州島のほぼ中央に位置している。県域の総面積は四〇一七平方キロメートルで、周囲を五〇〇メートルから一〇〇〇メートル級の山に囲まれた大きな盆地となり、そのほぼ中央に、県土の六分の一を占める琵琶湖がある。本州島の最狭部に立地し、気候的には、日本海型気候区と太平洋型気候区そして瀬戸内型気候区が接した位置にあり、とくに北東部は北陸型の気候を示し、積雪も多い。北西部を福井県、東は岐阜県、南東部を三重県、そして南西部は京都府と接しており、近畿地方で最も東に位置している。一般に、県土の西部を湖西、南西部を湖南、南東部を湖東、東部から北部を湖北と呼び慣わしている。律令制の成立期から江戸時代まで、近江国として東山道で東国に行くために最初に通過する国であり——平安時代以降は、東海道の最初の国でもある——、首都に接した国として交通の要衝にあり、富や文化が集積される地域ともなる。その複雑な自然地形や気候区分などもあって、農業生産をはじめとする生産性の高さは特筆に値する。豊かなこの地で展開される人びとの歴史は、常にその時代の動向とともに動き、中央の政治史や経済史はもとより、宗教史や文化史など、あらゆる分野で刮目に値する動きを伝えている。近江国は、明治維新以降の廃藩置県によって、一時的に分割されるものの、明治五年（一八七二）には、滋賀県として再統合され、一部の移動はあるものの、ほぼ近江一国を滋賀県として現在にいたっている。

このような地理的な事情もあって、律令制が成立する段階から、大津宮——近江大津宮——や紫香楽宮、また

保良宮などの王宮が営まれ、それにかかわる都市計画や社寺文化も栄えることになった。近年、これらの宮跡にかかわる埋蔵文化財の発掘調査などでは、語り尽くせないほどの成果が報告されているが、このような近江国の豊かな歴史的文化的遺産は、すでに、崇拜の対象として祀られている各地の古像の数量的な多さからして、周知であった。国指定文化財の数量からすると、彫刻分野で国宝四件とともに重要文化財が三七五件となっている（二〇一三年二月現在、文化庁のホームページによる）。そのうちのかなりの像が平安時代の作として指定されており、斯界から注目される近江の仏像の貴重さを物語っている。また、滋賀県指定文化財や各市の指定になる仏像も多く、さらにすべての指定にかかっていない古像も残されており、今後、新たに報告されるであろう未知の像もそれなりの数にのぼることが想像される。

注目に値する近江の仏像であるが、現状、その研究がそれほど進んでいるとはいえない。滋賀県の文化財研究の先達ともいふべき景山春樹・近藤豊・宇野茂樹・宇野健一・西田弘の各氏によって監修された『近江文化財全集』上下（近江史跡会編・一九七四年）が、仏像もふくめた早期の全般的な成果であり、同年に刊行された宇野茂樹氏の著作（宇野・一九七四年）は、白鳳寺院の出土事例や金銅仏から、近世の仮面などを網羅した幅広い専門書として先駆的な業績であり、いまだに肩を並べることすらできない、画期的な論著といえよう。

戦後の右肩あがりに成長する経済発展のなか、約一〇年ごとに刊行されていた美術全集の一環として、各地の社寺の建築や宝物をテーマとした『日本古寺美術全集』が発刊され、近江に関する二冊として、『延暦寺・園城寺と西教寺』（濱田隆編・一九八〇年）と『石山寺と近江の古寺』（伊藤延男編・一九八一年）が刊行された。いずれも、とりあげられている作例に詳細な解説を付すとともに、編者をはじめとした第一線の研究者によって関連する論考が掲載されている。近江の、とくに仏教美術にかかわる概論や専論が少なかったなかで、大部のものではなかったが、まことに貴重な論が展開されていた。この頃に、近江の仏像を網羅的に扱った好著が発刊され

ている。西川杏太郎氏による「日本の美術」シリーズの一冊は（西川杏太郎…一九八五年）、主として平安時代の作例に視点を据えたもので、多くの作例の編年や機能面などでの弁別に力を注がれながら、時系列で通史的な展開がはかられている。久野健氏編集による総合的な書物は、世界の仏像を網羅的に収録しようとされた壮大な企画の一冊で（久野健…一九八七年）、現在でも極めて有用なものと評価できよう。さらに、旅行との関連から出版された一般書のなかに近江の仏像を網羅的に扱った「仏像を旅する」シリーズの主に二冊が近江を扱っている（松島健編…一九八九年／鷲塚泰光編…一九八九年）。

このように、一九八〇年代に、わずかながら近江の仏像を網羅的に把握しようとする試みに、注目が集まるような現象があらわれる。近江の仏像は、石山寺をはじめ延暦寺（塚本善隆他…一九七一年）や園城寺（石田茂作他…一九七一年）などの大寺院にある程度の集中がみられるのは当然としても、圧倒的に多数の像が県内各地に散在して祀られている、というのが特徴であろう。そうであるが故に、ともかくその全体像を把握しようという試みが真つ先に行われなければならなかった。その点からすれば、一九六三年に延暦寺一山の総合調査に端を発し、湖北・湖東・湖南そして湖西へと展開されていった、文化庁による「文化財集中地区特別総合調査」の意義は極めて大きい。それは、未指定文化財をローラー作戦のように網羅的に把握しようというものであり、詳細な報告書が手作りで刊行されている（文化庁…一九七三～七六年）。そこで確認され、はじめて斯界で認識されることとなり、滋賀県指定はもとより重要文化財に指定された作例も多い。この時期には、元興寺文化財研究所による、湖西の比良山系の山岳信仰にかかわる文化財の総合調査も注目されるものである（元興寺文化財研究所…一九八〇年）。大量に散在して現存する文化財、とくに宗教的な偶像として信仰を集め崇拝されている仏像の実態を把握する試みが、さまざまな理由から組織的に開始されることになる。滋賀県のなかで、その中心となって活動したのは、滋賀県教育委員会の文化財保護課と、一九六一年の開館以来、積極的な活動を行っていた県内唯一の博

物館であった滋賀県立琵琶湖文化館である。

一九八〇年代から九〇年代にかけて、各地に市立など自治体による博物館が建設され、美術史、とくに仏教美術を専攻する学芸員が配置されたこともあって、各地の独自の文化財調査とともに、文化財保護課が主宰する文化財保護事業の一環としての文化財調査に結集し、館の垣根を越えた大規模な調査も行えるようになった。当然、これには文化庁や大学の研究者などが参加されることもあり、個人の能力を大きく超える活動が積極的に行われた。その意味からすると、滋賀県の仏教美術、とくに彫刻としての仏像の調査は、基本的に所謂「現場」主導でなされていたといえよう。筆者もその末席に連なつて、貴重な仏像を調査・研究させて頂いた。その成果は、報告書や論文、そしてなによりも各館で開催される展覧会に反映され、広く斯界に公開されることになる。また一九七〇年代以降、主として九〇年代から二一世紀にかけて、各地の自治体史の刊行が盛んとなり、これにともなう文化財調査などにおいても、なお新出の作例が報告されている。このような、自治体とそれにかかわる研究者や学芸職員などの地道な活動によつて、多くの作例が確認され、斯界の注目を集めることになった。これらを踏まえた近年の成果として、明快な写真を中心として編集された著書があり（寿福滋他・二〇一〇年）、特に『國華』一四〇七号（國華・二〇一三年）は「特輯 近江の佛像」として刊行されているが、最新の調査研究の成果を踏まえての論考が掲載されている。

以上、雑駁な文章ながら、近江彫刻史の全体的な研究状況を一瞥した。脱漏した重要な著作もあるし、個別の専論については適宜ふれさせていただくことになるが、いずれにしても、近江彫刻史の裾野は驚くほどに広い。筆者自身は、前記したような文化財調査の末席に加わり、自治体史の執筆などに関していえば、古代から近世までの作例を扱い、未熟さ故に誌上を汚す結果となっている。膨大な量を誇り、かつ検討すべき課題に満ちあふれた近江彫刻史の全体を見通すことは、筆者のような浅学の身では不可能であろう。現在までに携った文化財調査

は、平安時代から室町時代辺りまでを扱うことが多く、とくに湖北の古代彫像や延暦寺や園城寺から近江国内に派生してゆく天台系とみられる仏像を検討させていただくことになった。いきおい駄文もこの分野で試みることになるが、この拙著では、三つのテーマをたてて構成することにした。

最初に、「第一部 近江の仏像の成立」として、主に湖北に伝存する八世紀後半から九世紀にかけての本格的な彫像について、調査の結果を踏まえつつ、個別の作例から全体的なあり方をさぐろうとしたものを掲げた。基本的に、南都寺院がこの地方に進出するにさいして、官営工房の優れた技術者が主体となって造像されたことを作風や技法、そしてわずかに残された像内銘記などによって立証しようとしている。近江の仏像の完成度の高さは、官営工房の介在によって、最初から約束されていたことになる。次に「第二部 比叡山寺の仏像」とした。最澄入山によって建てられた草庵に発する比叡山延暦寺は、のちに日本天台宗の総本山としての偉容を誇ることになるが、最澄の時代あるいはその没後における造像など、いまだに未知の謎が多い。ここでは、近江の各地に伝えられる仏像を題材としてその実相を想定し、次世代の円仁や円珍の入唐求法とその帰国後に、造像システムがどのように変化したのかを考えてみる。また、現在の滋賀県には多くの天台寺院が建っているが、「天台王国」とも呼ばれる現状の源流をなすであろう、近江各地への天台系勢力の進出を、仏像の有り様からさぐろうとしている。三つ目は「第三部 近江の初期神像」として、比叡山・金勝寺、そして伊吹山の神像について、いささか強引ともとれる仮説を提示した。神仏習合については、近年、意欲的な学説が提示され、研究も活況を呈している。そのような動向を前提として、人格神としての神像の成立を山寺の有り様とともに考えてみたものである。神はどのような姿をとってあらわされるのか、厳密な意味での定説をみない状況のなかで、やや隙間を狙ったような感じになっているが、仏像と神像の狭間で考えてみた。

以上、三つのテーマに絞って述べることになる。時間的には、八世紀後半から一〇世紀、やや幅を持たせて一

一世紀までを扱う。近年、根立研介氏は、日本彫刻史の大きな時代区分について、従来、慶派の台頭と鎌倉幕府の成立で漠然と語られてきた平安後期彫刻と鎌倉彫刻との間で大きな断絶があるとして、古代と中世の区分がなされてきたのに対して、慶派における平安後期彫刻の継承面や、円派・院派仏師の活発な活動など、十二世紀後半に大きな断絶をみるよりは、一〇世紀末頃に大規模な私的工房を構える專業化仏師が出現し、僧綱仏師の出現などにいたる大きな画期を認め、この頃に時代の大きな変化、すなわち中世への移行を提言された（根立…二〇〇六年）。氏は、政治史や社会史などの分野で、一〇世紀から一一世紀に中世社会へ移行するという近年の説を受け、仏師の社会的地位や役割などの歴史的意味を前提として立論されているが、代表的な仏師として、康尚あたりで成立する私仏所は、造像システムのなかで、極めて大きな意味を担っている。仏師研究については多くの蓄積があり（浅香…一九七一年／小林…一九七八年／宇野…一九八二年／田中…一九八三年／清水善三…一九九六年／伊東…二〇〇〇年など）、基本的には、八世紀から九世紀が官営工房、九世紀から一〇世紀が寺院工房、以降は講師職から僧綱位に進む三派仏師が主宰する仏所の時代というように図式化されている。僧綱位にいたる以前の講師仏師についての研究も進められているが（長坂…二〇〇四年）、少なくとも、造寺造像の社会システムを前提とするならば、一〇世紀から一一世紀に大きな画期をみることは極めて妥当であると思われる。

根立氏の提言をこの著での問題関心に当てはめてみると、とくに「比叡山延暦寺と天台勢力の造寺造像」の第二部が重要であろう。この章でのひとつの提言は、一〇世紀から一一世紀の近江の造像を見渡すとき、とくに良源によって主導される延暦寺の寺院組織を盤石化する試みの一環でもあろうか、教線が近江各地に展開し、いわゆる拠点寺院を形成するのではないかという予測にある。今も有力寺院として多くの古像を祀る湖南市・善水寺、甲賀市・櫛野寺、長浜市木之本町・石道寺などが想定される。これらの寺院に安置される一〇世紀から一一世紀の像については、表現形式などに親しさがああり、造像工房が近いことをあらわしている。これについては、延

【主要参考文献】

浅香年木『日本古代手工業史の研究』（法政大学出版局、一九七一年）

石田茂作他監修『秘宝園城寺』（講談社、一九七一年）

暦寺の教線展開にかかわる造像の工房を同じくするか、近しい関係がうかがえるのであり、以降、県内で広範囲に展開される平安後期の造像とは、何かしら断絶を感じさせる。一一世紀以降の近江の仏像については、今後の課題となるが、造像を担う近江在地の社会的な変動が、その原因の一つであることは間違いないだろう。また、根立氏が述べられる、仏師をとりまく環境、仏所の成立や僧綱仏師に統合されてゆくような造像システムの変貌も、大きな要因であることは想像に難くない。しかし、拠点寺院の形成がこの時期にとどまるということではなく、例えば湖東三山のひとつとして著名な愛荘町・金剛輪寺の造像からすると、一三世紀前半、一二一〇年代あたりから、造像は活発化し、經典の整備などもこれに准ずる時期に達成されてゆく（高橋正隆監修二二〇一三年）。金剛輪寺などの造寺造像については、中世権門寺院として巨大化した延暦寺一山の三塔体制のなかの穴太流忠快の系脈を継承する承澄から豪澄につらなる西山流など、門流の拠点としての性格が強いように推測される。このような、金剛輪寺に代表される鎌倉時代以降の拠点寺院の形成については、なお多くの検討がなされねばならないが、少なくとも、権門寺院の門流化は中世的な事象と理解されよう。

本書は、基本的に八世紀後半から一一世紀半ばあたりまでを扱うことになるが、律令制が再編され衰退し、中世的な社会に移行しようとする、狭い時間を対象としている。さらに、一応三つの限定されたテーマが、互いに交錯しながら展開することになる。いきおい、屋上屋を重ね、同じ議論を繰り返すことになるが、お許し願いたい。

■初出一覧■

(本一覽の表題は初出のものを掲げています)

総説

新稿

第一部

総論

新稿

第一章 湖南省・善水寺金銅誕生釈迦仏立像について

『近江文化財論叢』四(二〇一二年)

第二章 滋賀・鶏足寺木心乾漆造十二神将立像について——その制作年代の推定——

『MUSEUM』四三七(一九八七年)

第三章 滋賀・高月町日吉神社木造千手観音立像をめぐる——近江彫刻史の地域研究(一)——

湖北における仏教彫刻の成立——

『滋賀県立近代美術館研究紀要』四(二〇〇二年)

第四章 己高山寺の草創

木之本町教育委員会

『鶏足寺の文化財2〈美術・工芸編〉』(二〇〇三年)

第五章 長浜市木之本町・鶏足寺の木造十一面観音立像について

『淡海文化財論叢』五(二〇一三年)

第二部

総論

新稿

第一章 円仁帰国後の延暦寺の造像——現存作例の検討から——

『佛教藝術』三〇〇(二〇〇八年)

第二章 滋賀・蒲生町梵釈寺宝冠阿弥陀如来像の制作時期

木村至宏編『近江の歴史と文化』思文閣出版、一九九五年

第三章 滋賀・木之本町金居原薬師堂の木造伝薬師如来立像について『日本文化史研究(帝塚山短期大学)』二五(一九九六年)

滋賀・金居原薬師堂木造薬師如来立像再論——平安中期における延暦寺根本中堂本尊像の「形」の認識について

の試論——

清水眞澄編『美術史論叢』造形と文化(雄山閣、二〇〇〇年)

〈ふたつの論文をまとめて仕上げています〉

第四章 石山寺木造阿弥陀如来坐像について

『同志社大学博物館学年報』三三(二〇〇二年)

第五章 滋賀木之本町・石道寺の造像——近江彫刻史の地域研究(二) 湖北における天台勢力の進出と彫像の展開——

『滋賀県立近代美術館研究紀要』五(二〇〇四年)

第六章 甲賀市甲南町・正福寺の金剛力士像とその周辺——新出の平安後期の力士像——

『滋賀県立近代美術館研究紀要』六(二〇〇六年)

第三部

総論

新稿

第一章 甲賀市・永昌寺木造地藏菩薩立像について——天台系僧形像についての一試論——

『滋賀県立近代美術館研究紀要』七(二〇〇八年)

第二章 栗東市・金勝寺僧形神像について

『近江文化財論叢』三(二〇一一年)

第三章 米原市・惣持寺の木造天部形立像について——伊吹山、荒ぶる神の信仰と造形——

『滋賀県立近代美術館研究紀要』九(二〇一三年)

あとがき

滋賀県の文化財の豊かさについては、ここで改めて述べるまでもない。とりわけ、私もその末席に連なりながら調査、研究に従事させて頂いた彫刻、仏像や神像の凄みは恐るべきものである。というような言い方は、人びとの信仰の対象として大切に、本当に大切に伝えられた尊像に対して、まことに失礼な言い様にとられるかもしれないが、幸いにして、三十年以上をこの地で学芸員として仕事に携われた者の率直な感想である。三十年など一日の如きもので、拝見すべき仏像の、いったい何%に接して頂けたか、という感が強い。拝見し、調査させて頂くだけでも、道半ばなどには、とてもともてもいたっていない。

大学で仏像について興味を持ち、現地調査の手伝いということで、先達の後をヒョコヒョコともなにも分らないままに、しかし生意気に、丁稚のような形でこの道に入ったときから、自分が知らない作例に満ち満ちている、近江の彫像は希望そのものであった。幸運にも、滋賀県立琵琶湖文化館に奉職させて頂き、憧れの地で調査に携われることになった。夢の世界への入り口、二十代半ばにして、素晴らしいポジションに就けたということであろうか。

しかしこの文化財調査、特に仏像や神像の調査など、一人ではできないものではない。ご指導を頂いた先生方、上司や同僚たち、各地の博物館・美術館の学芸の皆様や文化財行政に携っておられる方々から、調査し、学ぶべきものの基礎や応用など、受験生のごとくに教えられた。そして、その指導は、やがて「心構え」のような範囲へとおよび、職業人に対しての指導に堪えられるような成長が少しは

できたのであろうかと思うこともあった。同志ともいうべき人々ともに行えた、肉体労働そのものの調査こそが、職業人としての自覚を促してくれる真剣な瞬間であった。もちろん、そのような実地の調査は、社寺や文化財が所在する地域の人びとの寛容な理解がないとできないことは、言うまでもない。お世話になり続けている皆様方に、心からお礼を申し上げます。

その後、県内の各地に博物館が設立され、有望な研究者や学芸員も加わることになり、後進の人びとからも本当に多くのことを学びとり、今も多くの刺激を受け続けている。彼らの柔軟な視点からの議論に、そのなかにいる欲びとともに、なにか嫉妬のようなものも感じる年齢となってしまった。今年、長く勤務させて頂いた滋賀県の学芸員を退職し、お薦めも頂いて、同じ滋賀県にある公益財団法人が運営する館の財団に再就職した。展示・研究担当としての新しい職務からして、日々の仕事は以前と全く同じだが、これを機会として、発表していた拙文を合わせてみようと思いたち、旧知の出版社に相談したところ、お引き受け頂いた。

しかし、まとめてみると自分の視野の狭さに愕然とすることになった。ここでは十一世紀あたりまでの話題を三つに分けてみたが、同じことの繰り返しか、逆に一つの章のなかで全く脈略に乏しいかどうか、ということに気づいたからである。やはり、まだまだ、一層のご指導を頂かないといけないと自覚することになってしまった。このような著作を引き受けて頂いた、思文閣出版の原宏一氏に感謝を申し上げたい。また、私事で恐縮ながら、このような生き方を支えてくれている家族、特に妻には感謝の言葉もない。

ここでは、書物の性格上、さまざまな尊像について、特に大きな図版などを使つてはいない。美術史には、正確な判断ができる写真図版を集めることが大事と教えられたが、お許し願いたい。数年前、

長きにわたって仕事を一緒にした寿福滋氏による渾身の写真を多数掲載した『近江の祈りと美』がオンラインズ出版より刊行されているが、筆者もこれにかかわっている。自分が抱いている近江の彫像観は、ある意味において、彼の写真によってできあがっているのではないかと思うほどであるが、その優れた写真図版の恩恵にあずかったことも感謝感謝である。近江の「仏像や神像の凄み」を、優れた写真図版で端的に伝える書物と自負している。恐縮ながら、拙著の図版についての不足は、そちらで補って頂ければ幸いである。

平成二六年七月一〇日

高梨純次

続日本紀	17, 18, 34, 305
続日本後紀	32, 305
諸寺建立次第	33
初例抄	211
晋書	369
真如堂縁起	205, 208, 209

す

周恵庄解	101
------	-----

せ

制誡文	332
青龍寺求法目録	160
千手菩薩儀軌	215

そ

造石山院所解	47
造石山院所勞劇文	46
相応和尚伝	331
総持抄	326
造東大寺司解	46
造東大寺司告朔解	46
尊意贈僧正伝	270

た

大安寺伽藍縁起并流記資材帳	45, 114
台記	370
大吉寺縁起	271
胎藏旧図様	160, 265
胎藏図像	160, 265
大唐国日本国付法血脈図記	160
太平記	211, 213
太政官符	348
多度神宮寺伽藍縁起并資材帳	329

て

帝王編年記	367
天元三年中堂供養願文	162, 211～213, 217, 223, 224
伝述一心戒文	158, 171, 213, 330, 332, 333
天台座主記	222, 223, 270
天台宗延暦寺座主円珍伝	222

と

藤氏家伝	309, 369, 375
東大寺別当次第	33
東大寺要録	31, 33

に・ね

二十二社註式	241
入唐求法巡礼行記	158
入唐新求聖教目録	172
日本紀略	240, 305, 306, 312
日本書紀	30, 45, 99, 303, 367, 368
日本靈異記	27, 112, 113, 132, 262, 272, 350
年中行事絵巻	346

ひ・ふ・ほ

比叡山延暦寺元初祖師行業記	215
百鍊抄	370
扶桑略記	18, 23, 162, 211, 213, 216, 217
法隆寺伽藍縁起并流記資材帳	45
法華経	159, 271, 307～309, 329, 332, 349, 351
法華験記	211
法華秀句	115

ま行

摩訶止観	159
妙香院莊園目録	100
武智麻呂伝	309
面授口訣	216
文徳天皇実録	305, 309

や～わ

薬師瑠璃光七仏本願功德経	215
山階寺大衆三ヶ条訴	240
類聚三代格	32, 34, 98
六波羅蜜寺縁起	240
六卷抄	272
倭名類聚抄	99, 102, 272, 368, 370

【史料名】

あ	
阿婆縛抄	176, 326
い	
井口日吉神社文書	126, 267
石山寺縁起	23, 46
石山寺縁起絵巻	19, 20
伊勢国多度神宮寺伽藍縁起并資材帳	21
一代要記	23
え	
叡岳要記	158, 165, 179, 180, 196, 210, 220, 264, 321, 322, 324, 327
叡山大師伝	116, 157, 158, 171, 213, 215, 216, 222, 324, 332
延喜式	25, 87, 128, 305, 311, 350, 370
延暦寺護国縁起	213
お	
近江国弘福寺領莊田注進状	114
近江国風土記逸文	75, 128
近江輿地志略	126, 266, 267, 315
か	
懐風藻	157
覚禅抄	174, 176, 195
羯磨金剛目錄	213
菅家文章	365
勸奨天台宗年分学正式（八条式）	213
き	
行歴抄	159
く	
九院仏閣抄	211, 222
空也誄	239
公式令	96
弘福寺田畠流記帳	114, 132

け

溪嵐拾葉集	220, 264
元亨釈書	33, 222

こ

高僧図像	346
高僧伝	368
興福寺官務牒疏	104, 126, 127
広隆寺縁起資材帳	89
古瓦譜	20
古事記	157, 368, 375
御請来目錄	162
己高山縁起	25, 126, 127, 267
五部心観	160
金光明経	349
金光明最勝王経	307～309, 349, 351
今昔物語集	241, 328

さ

西大寺資材流記帳	45, 47
嵯峨天皇宸翰光定戒牒	213
山家要略記	332
三代実録	34, 305～307, 312, 371
三宝絵	211～213, 217
山門堂舎記	158, 159, 174, 179, 211, 222, 223, 264, 321～324, 327, 332

し

慈慧大僧正伝	270
慈覚大師伝	173
信貴山縁起絵巻	346
四帖秘決	242
実忠二十九箇条	31
釈家官班記	309
赤後寺観音縁起	86
十一面儀軌	215
拾遺伝	270～272
授菩薩戒儀	331
春秋左氏伝	369
正倉院文書	18, 20, 22, 30, 46, 167
勝鬘経	115, 116

- み
- 明王像（鷄足寺） 268
- 明星菩薩像（弘仁寺） 328
- 弥勒三尊像（弥勒寺） 234
- 弥勒仏像
- （東大寺） 208
- （弥勒寺） 202
- も
- 木彫群
- （大安寺） 92
- （唐招提寺） 90, 92, 109, 326
- 文殊聖僧像（善水寺） 322
- 文殊師利菩薩像（延暦寺根本中堂） 323
- や
- 薬師三尊像
- （勝尾寺） 192
- （上醍醐薬師堂） 192, 195
- （法隆寺） 234
- 薬師如来像
- （一之宮神社） 230
- （因幡薬師堂） 234, 238
- （延暦寺） 202, 207
- （延暦寺一乗止観院） 170, 210, 263, 321, 350
- （延暦寺根本中堂） 210, 322, 326, 330
- （延暦寺薬師堂） 198
- （円隆寺） 202
- （横蔵寺） 165, 208
- （鷄足寺） 26, 51, 103, 261, 364
- （興福寺） 234
- （西教寺） 263
- （舍那院） 202, 234, 241
- （充滿寺） 25, 162, 268, 269, 273, 363
- （勝持寺） 66
- （聖衆来迎寺） 160
- （勝常寺） 60
- （神護寺） 370
- （新薬師寺） 60
- （善水寺） 37, 202～204, 234, 237, 257, 297, 312, 320～322
- （大岡寺） 310, 311
- （大日寺） 310
- （多田幸寺） 162, 179, 181, 265
- （長源寺） 204, 263
- （椿神社） 347
- （唐招提寺） 26, 91, 94, 364
- （仏国寺） 202
- （法界寺） 202, 207, 208, 220
- （宝光寺） 162, 204, 217, 218, 263
- （法隆寺） 203
- （室生寺） 202, 326, 327, 330
- （蓮台寺） 202, 203, 217
- （六波羅蜜寺） 203, 234～237, 239, 241～244, 259
- ゆ
- 維摩居士像（延暦寺） 162, 181, 182
- り
- 龍樹菩薩像（延暦寺横川常行堂） 174
- 龍猛菩薩像（高野山泰雲院） 346

と	
兜跋毘沙門天像	
——（石山寺）	373
——（延暦寺根本中堂）	322
——（鶏足寺）	268
——（善水寺）	37, 234, 320～322
——（東寺）	373

に	
日羅像（橘寺）	328, 329
日光菩薩像（道成寺）	191
二天像	
——（西明寺）	260
——（石道寺）	248, 260, 261
二天王像	
——（延暦寺西塔釈迦堂）	361
——（石道寺）	363
——（正福寺）	296
二臂如意輪観音像（石山寺）	22
如意輪観音像	
——（石山寺）	19, 23
——（岡寺）	22
——（観心寺）	190, 191
如意輪観音半跏像（石山寺）	258
如来形像（薬師堂）	198
如来像	
——（金剛心院）	208
——（東大寺）	92

は	
八部衆像（興福寺）	93, 361, 375
八幡三神像（薬師寺）	311
速玉神像（熊野速玉大社）	347

ひ	
毘沙門天像	
——（石山寺）	260
——（鞍馬寺）	375
——（金勝寺）	308
——（惣持寺）	356, 359, 373, 383, 385
——（蓮乗寺）	309

ふ	
不空罽索観音像（広隆寺）	85, 94
仏像（若王寺）	160, 208, 311, 204, 347
不動明王像	
——（石山寺）	203
——（園城寺）	233, 234
——（舍那院）	385, 386
——（善水寺）	37, 234, 320～322, 324
——（惣持寺）	356
——（東寺）	177, 191
——（同聚院）	234
——（遍照寺）	234

ほ	
宝冠阿弥陀如来像	
——（金居原）	218～220, 224
——（香蓮寺）	159, 209
——（常行堂）	176
——（西阿閉観音堂）	159, 219, 268, 269, 273, 363
——（梵釈寺）	159, 173, 175, 179, 180, 182, 187～196, 203, 209, 265, 280
宝生如来像（観心寺）	190
菩薩形像（鶏足寺）	150, 365
菩薩像	
——（安念寺）	268
——（鶏足寺）	28
——（橘堂）	162, 176, 217
——（日吉神社）	28, 74, 82, 84, 85, 95, 192, 203, 262, 365
——（報恩寺）	17
——（法隆寺）	94
菩薩半跏像（宝菩提院）	92, 192
梵天像（善水寺）	37, 203, 204, 234, 237, 257, 258, 260, 320, 321, 327

ま	
磨崖仏	
——（狛坂）	32, 33
——（南山）	32
万卷上人像（箱根神社）	346, 347

—— (石馬寺)	260
—— (興福寺)	63~66, 361
—— (善水寺)	261, 321, 322
—— (大安寺)	64, 65
—— (東寺)	191, 64
—— (東大寺)	62, 64
—— (法隆寺)	64
た	
大威徳明王像 (東寺)	177, 191
帝釈天像	
—— (石道寺)	258
—— (善水寺)	37, 203, 204, 234, 237, 257, 258, 260, 312, 317, 318, 320~322, 325, 327, 329
大將軍神像 (大將軍八神社)	374
大日如来像	
—— (安祥寺)	190, 191
—— (石山寺)	192
—— (上野庵寺)	373
—— (唐招提寺西山大日堂)	190
大仏	
—— (甲賀寺)	131
—— (東大寺)	19, 44
多聞天像	
—— (興福寺)	65, 66
—— (金剛輪寺)	260
—— (石道寺)	253, 255, 256
—— (正福寺)	295
—— (善水寺)	261, 321, 322
—— (大安寺)	63
—— (東大寺)	64
誕生釈迦仏像	
—— (阿弥陀寺)	40, 41, 47
—— (久世麿寺)	42
—— (専修院)	40~42
—— (善水寺)	23, 37~48, 315
—— (大光寺)	40
—— (東大寺)	23, 41~44, 46, 315
—— (長谷寺)	40
男神像	
—— (大宝神社)	311

—— (小槻大社)	305, 307, 347
—— (春日神社)	306
—— (金勝寺)	348
—— (竹田神社)	306
—— (日牟禮八幡宮)	311

ち

智証大師像

—— (園城寺)	178, 180, 181
—— (御骨大師) (園城寺)	162, 181
—— (御廟大師) (園城寺)	162, 181
—— (中尊大師) (園城寺)	181, 182, 265

茶沸観音	32
------	----

て

伝大己貴命像 (小槻大社)	305
伝落別命像 (小槻大社)	305
伝教大師像	
—— (観音寺)	366, 373, 387
—— (鶏足寺)	127
—— (高野神社)	127
伝獅子吼菩薩像 (唐招提寺)	93
伝地藏菩薩像 (大島奥津島神社)	34
伝釈迦如来像 (生室寺)	220, 325
伝千手観音像 (黒田観音寺)	25, 28, 104, 109, 110, 117, 192, 262, 365
伝多聞天像 (延暦寺西塔釈迦堂)	361
天部形像	
—— (正福寺)	295
—— (惣持寺)	309, 310, 355~376, 385
伝不空絹索観音像 (大安寺)	93
天部像	
—— (石道寺)	256, 257
—— (惣持寺)	356
伝弥勒菩薩 (観心寺)	190
伝薬師如来像	
—— (充滿寺)	202, 204, 263
—— (唐招提寺)	103, 130
—— (金居原薬師堂)	198~225, 263, 264, 273
—— (充滿寺)	217, 218

—— (石窟庵)	147
—— (千手院)	262
—— (禪定寺)	203, 234
—— (善水寺)	324
—— (大岡寺)	203
—— (多田寺)	148
—— (東門院)	167
—— (能福寺)	37, 257, 258, 320, 321, 324
—— (尾藏寺)	178
—— (百濟寺)	17
—— (遍照寺)	234, 237
—— (宝慶寺)	147
—— (宝積寺)	209
—— (法華寺)	94, 280
—— (室生寺)	327
—— (藥師寺)	93, 147
—— (八瀬保存会)	258, 260
—— (櫟野寺)	297
—— (龍華寺)	192, 195
—— (蓮長寺)	31, 92, 194
—— (六波羅蜜寺)	203
十二神将像	
—— (鶏足寺)	26, 51~68, 71, 91, 103, 113, 127, 261, 362, 364
—— (興福寺)	374
—— (広隆寺)	374
—— (新藥師寺)	63~65
聖観音像	
—— (菅山寺)	26, 364
—— (九品寺)	221, 258, 259
—— (金剛定寺)	31, 150
—— (常教寺)	31, 165, 192, 203
—— (醍醐寺)	92
—— (来現寺)	28, 112, 192, 262
—— (来迎寺)	30, 31, 44, 150, 167, 170, 192, 344
—— (延暦寺横川中堂)	387
女神像	
—— (春日神社)	306
—— (金勝寺)	307, 311, 345, 348, 352
—— (建部大社)	311, 312
—— (東寺)	311, 345

—— (松尾大社)	345
—— (御調八幡宮)	311
神功皇后像 (藥師寺)	311
神像	
—— (塩津港遺跡)	346
—— (松尾大社)	311, 347
神像群	
—— (大見神社)	346
—— (佐波加刀神社)	346
神王像 (石山寺)	22
新羅明神像 (園城寺)	160

せ

勢至菩薩像 (延暦寺横川常行三昧堂)	174
千手観音像	
—— (延暦寺)	92, 158, 161, 165, 192
—— (延暦寺山王院)	170, 344
—— (園城寺)	167~170, 192
—— (光明寺)	167, 192
—— (広隆寺)	167, 203, 234, 238
—— (千手院)	28, 262
—— (如意寺)	167
—— (日吉神社)	27, 28, 30, 31, 44, 74~117, 131, 135, 150, 167, 170, 192, 261, 344, 364, 365
埴仏 (穴太庵寺)	16

そ

僧形神像	
—— (永昌寺)	329
—— (延暦寺一乗止観院)	350
—— (金勝寺)	307, 308, 341~352
—— (本隆寺)	305, 307
僧形像	
—— (黒石寺)	346
—— (金勝寺)	334, 352
—— (本隆寺)	334
僧形八幡神像	
—— (東寺)	311, 345
—— (藥師寺)	347
僧形文殊像 (善水寺)	37, 320, 321
増長天像	

金剛力士像
 —— (向源寺) 288, 289, 291
 —— (財賀寺) 288, 290, 291
 —— (正福寺) **281~292, 296**
 —— (善水寺) 288, 289, 291, 320 ~ 322,
 324
 —— (醍醐寺) 288, 290, 291
 —— (大蔵寺) 288
 —— (中禅寺) 288, 291
 —— (東大寺) 88, 288
 —— (峯定寺) 288, 290, 291
 —— (法用寺) 288~291
 —— (蓮台寺) 289, 291
 金銅仏 (石山寺) 23
 金堂壁画 (法隆寺) 147

さ

三面千手観音像 (善勝寺) 163

し

持国天像
 —— (興福寺) 65
 —— (石道寺) 253, 255, 256
 —— (善水寺) 258, 261, 321, 322
 —— (大安寺) 63~65
 —— (東寺) 63, 64, 67, 191
 —— (東大寺) 63, 64, 360
 —— (法隆寺) 64
 四摂菩薩像 (延暦寺常行三昧堂) 174, 175
 地藏菩薩像
 —— (朝田寺) 328
 —— (安産寺) 325, 327, 328
 —— (永昌寺) 37, 234, **314~335**
 —— (延暦寺横川常行三昧堂) 174
 —— (大島沖津島神社) 307
 —— (大島奥島神社) 334
 —— (浄信寺) 110
 —— (松禅院) 182
 —— (正福寺) 294, 296
 —— (惣持寺) 356
 —— (東南寺) 203
 —— (法隆寺 (旧大御輪寺)) 328

—— (室生寺) 327
 —— (融念寺) 328
 —— (樺野寺) 308, 334, 346
 四天王像
 —— (円教寺) 234
 —— (延暦寺根本中堂) 240, 323
 —— (興福寺) 26, 90, 103, 113, 114, 130,
 361, 362
 —— (金剛輪寺) 260
 —— (善水寺) 37, 234, 237, 240, 258, 261,
 320, 321, 323, 327
 —— (大安寺) 65
 —— (東寺) 191
 —— (唐招提寺) 65
 —— (東大寺) 62~64, 88, 360
 —— (法隆寺) 234
 —— (六波羅蜜寺) 239, 240
 釈迦三尊像 (円教寺) 234
 釈迦像 (西大寺) 46
 釈迦如来像
 —— (延暦寺西塔釈迦堂) 242
 —— (正福寺) 281, 293, 296
 —— (保福寺) 194, 195
 —— (室生寺) 207
 十一面観音像
 —— (秋篠寺) 92
 —— (集町観音堂) 217
 —— (医王寺) 25, 262
 —— (園城寺) 162, 178, 192
 —— (川原観音堂) 17
 —— (観音寺) 90, 93
 —— (鶏足寺) 28, 31, 127, **139~151**, 192,
 262, 365
 —— (向源寺) 25, 93, 104, 139, 161, 165,
 175 ~ 180, 192, 193, 195, 203, 209, 262,
 264, 265, 278~280
 —— (石道寺) 127, 139, 203, 219, 248, 249,
 253, 256, 257, 323, 363
 —— (充滿寺) 25, 218, 219
 —— (正福寺) 281, 292, 296
 —— (聖林寺) 61, 89~94, 102
 —— (盛安寺) 162, 258, 259, 323

【像 名】

あ

阿弥陀五尊鏡像	174, 175
阿弥陀三尊像(清涼寺)	161, 175, 191, 194, 195
阿弥陀三尊像脇侍(清涼寺)	365
阿弥陀如来像	
——(石山寺)	230~244, 263
——(岩船寺)	203, 236
——(金剛輪寺)	193
——(広隆寺)	89, 202
——(西光寺)	175
——(真如堂)	162, 182, 205 ~ 207, 219, 234, 237~239, 259, 263, 264
——(清涼寺)	326
——(大宝寺)	175
——(仁和寺)	326
——(薬師堂)	198

う

宇迦乃御魂命像(小津神社)	311
---------------	-----

え

円空仏(観音寺)	373
----------	-----

お

大己貴命像(小槻大社)	347, 348
押出仏(穴太廃寺)	15, 16
落別命像(小槻大社)	347

か

月光菩薩像(道成寺)	191
願安像(金勝寺)	348, 351
観音菩薩像	
——(石山寺)	22, 23, 44
——(延暦寺)	167
——(延暦寺横川常行堂)	174
——(九品寺)	323
——(常教寺)	170

——(松禅院)	161, 169, 170
——(清涼寺)	175, 194
——(長福寺)	323
——(法隆寺)	148
——(梵釈寺)	159, 161, 187
——(満月寺)	192

き

吉祥薬師如来像(薬蘭寺)	191
黄不動尊(園城寺)	160, 278

く

紅玻璃阿弥陀像(当麻寺)	209
軍荼利明王像	
——(金勝寺)	308, 341
——(東寺)	61, 177, 191

け

乾闥婆像(興福寺)	361, 375
献納宝物一五六号(丙寅年銘)像(法隆寺)	148
献納宝物一六五号(辛亥年銘)像(法隆寺)	148

こ

降三世明王像(東寺)	191
広目天像	
——(興福寺)	63
——(正福寺)	295
——(善水寺)	258, 261, 321, 322
——(大安寺)	64
——(東寺)	63
虚空蔵菩薩像(広隆寺)	328
牛頭天王像(祇園社)	374
五大虚空蔵菩薩像(神護寺)	94, 190, 191
五大明王像(東寺)	61, 177
五智如来像(安祥寺)	190, 326
五部浄像(興福寺)	361, 375
五菩薩像(東寺)	61
金剛業菩薩(東寺)	61
金剛蔵王像(神王像)(石山寺)	167
金剛法菩薩像(東寺)	61

——食堂 64, 65
 ——大講堂 234
 ——伝法堂 94
 法華寺 94, 104, 126, 127, 129, 267, 280
 法性寺 224, 234
 保福寺 194, 195
 梵釈寺 159, 161, 173, 175, 179, 180, 182, 187,
 188, 190～196, 203, 209, 265, 280
 本隆寺 305, 307, 334

ま

松尾大社 311, 345, 347
 満願寺（廃寺） 112, 126
 満月寺 192

み

御上神社 113, 309
 御調八幡宮 311
 南滋賀廃寺 15, 20
 宮井廃寺 16, 187
 弥勒寺 202, 234

む

無動寺 →延暦寺
 室生寺 160, 202, 207, 220, 325～328, 330, 332
 ——金堂 202, 207, 327, 330

め

売比多神社 111

や

葉蘭寺 191
 葉師寺 93, 147, 311, 347
 益須寺 30
 弥高護国寺 373
 弥高寺（跡） 366, 373
 山階寺 113, 272

ゆ

融念寺 328
 雪野寺跡 16

よ

横蔵寺 165, 208
 与志漏神社 109, 124, 129, 139, 143

ら

来現寺 28, 112, 192, 262, 364
 来迎寺 30, 31, 34, 44, 150, 167, 170, 192, 344
 櫟野寺 8, 163, 269, 297, 308, 323, 334, 346

り

龍華寺 192, 195
 楞嚴三昧院 →延暦寺

れ

蓮花寺 241
 蓮乗寺 309
 蓮台寺 202, 203, 217, 289, 291
 蓮長寺 31, 92, 194

ろ

六波羅蜜寺 203, 234～237, 239～244, 259,
 322, 323

わ

和銅寺 37, 47

——食堂	239
同聚院	234
道成寺	191
唐招提寺	26, 27, 64～66, 90～94, 103, 109, 113, 130, 190, 326, 364
——講堂	64～66, 91
——金堂	64～66, 94
——西山大日堂	190
東大寺	18, 19, 23, 29, 31, 41～44, 46, 62～65, 88, 92, 132, 150, 157, 208, 243, 288, 315, 360
——戒壇院	360
——戒壇堂	63～65
——三月堂	88
——南大門	288
——法華堂	62～65
東南寺	203
東門院	167
な	
長尾護国寺	309
長尾寺	309, 356, 366, 385, 386
南山	32
に	
西阿閉観音堂	159, 174, 219, 268, 269, 273, 363
西野薬師堂	→充滿寺
日光輪王寺	174
若王寺	160, 204, 208, 311, 347
如意寺	167, 168
仁和寺	326, 345
の	
能福寺	37, 257, 258, 320, 321, 324
は	
箱根神社	346
長谷寺	40
八王子山	324
八幡宮（長浜市宮前町）	385, 386
八幡神社（長浜市木之本町）	198

林寺	30
飯道神社	310
飯福寺	104, 127, 129
ひ	
比叡山	→延暦寺
比叡山寺	210, 214, 222
日吉大社	→ひよしたいしゃ
日置前廃寺	16
尾蔵寺	178
檜尾古寺	168
日牟禮八幡宮	311
百濟寺	17
兵主神社	309
日吉神社（長浜市高月町）	25～28, 30, 31, 34, 44, 74, 82, 84, 85, 95, 104, 111, 117, 131, 135, 150, 166, 167, 170, 203, 261, 262, 344, 364, 365
日吉大社	241, 324, 332
——牛尾社	324
——三宮社	324
——神宮禪院	324
ふ	
峯定寺	288, 290, 291
仏国寺	202
へ	
遍照寺	234, 237
ほ	
報恩寺	17
法界寺	202, 207, 208, 220
宝慶寺	147
宝光寺	162, 204, 217, 218, 263
宝積寺	209
法成寺	235
法堂寺廃寺	16
宝菩提院	92, 192
法用寺	288～291
法隆寺	31, 64, 65, 94, 147, 148, 203, 234, 328
——講堂	203

真如堂（真正極樂寺） 162, 182, 205～207,
219, 234, 237～239, 242, 259, 263, 264
新放生寺 386
新薬師寺 60, 63～66

す

崇福寺（跡） 15～17, 367

せ

盛安寺 162, 258～260, 323, 325
棲霞寺 →清涼寺
青龍寺 160, 181
清涼寺（棲霞寺） 161, 175, 191, 194, 195,
323, 326, 365
世尊院跡 21
瀬田廃寺 23
石窟庵 147
千手院 28, 262
専修院 40～42
善勝寺 163
禪定寺 203, 234
善水寺 8, 23, 37, 38, 42～48, 163, 202～204,
219, 221, 234, 237, 238, 240, 242～244,
257～261, 266, 269, 273, 288, 289, 291,
297, 312, 315, 317, 318, 320～325, 327,
329, 330, 332, 334
前唐院 →延暦寺
禪林寺 160

そ

惣持院 →延暦寺
惣持寺 309, 310, 356, 359, 365, 366, 373, 383,
385
——毘沙門堂 309
惣持坊 366

た

大安寺 31, 63～65, 92, 93, 113～116, 132,
213
泰雲院 →高野山
大吉山寺（大吉寺） 271, 272
大岡寺 203, 310, 311, 347

大光寺 23, 40
醍醐寺 92, 175, 288, 290, 291
大將軍八神社 374
大山寺 175
大蔵寺 288
大日寺 310
大般若寺跡 16
太平寺 366
大宝寺 175
大宝神社 311
大菩提寺 349, 372
当麻寺 209
高尾寺 126, 266, 267
高野神社 127
竹田神社 306
建部大社 311, 312
多田幸寺 162, 179, 181, 265, 270
多田寺 148
橘寺 328, 329
橘堂 162, 176, 217
多度神宮寺 21, 33

ち

竹生島 271
中禪寺 288, 291
長源寺 204, 263
長福寺 323

つ

津宇寺 100
椿神社 310, 347

て

天台山 326

と

戸岩寺 127
渡岸寺 →向源寺
東寺 61, 63～65, 67, 162, 176～178, 180, 190
～193, 230, 239, 311, 345, 373
——講堂 63～65, 67, 162, 176～178, 190
～193, 239

熊野速玉大社 347
 鞍馬寺 375
 久留弥多神社 87, 111
 黒田観音寺 25, 26, 28, 104, 109, 110, 112,
 117, 192, 262, 268, 364, 365

け

鶏足寺 25 ~ 28, 31, 37, 51, 71, 74, 91, 103,
 104, 113, 114, 124, 126, 127, 131, 139,
 140, 150, 151, 166, 192, 261, 262, 266,
 268, 362, 364, 365
 幻住庵 230

こ

甲賀寺 23, 47, 88, 131, 151
 光眼寺 126
 向源寺(渡岸寺) 25, 93, 104, 125, 139, 161,
 165, 175 ~ 180, 192, 193, 195, 203, 209,
 262, 264, 265, 278 ~ 280, 288, 289, 291
 弘仁寺 328
 興福寺 26, 31, 63 ~ 68, 90, 91, 93, 103, 110,
 113, 114, 126, 130, 234, 240, 325, 361,
 362, 374, 375
 ——東金堂 64, 65, 361
 ——北円堂 26, 64 ~ 68, 90, 91, 103, 113,
 114, 130, 362
 光明寺 167, 192
 高野山 177, 304, 346
 ——泰雲院 346
 広隆寺 85, 89, 94, 167, 202, 203, 234, 238,
 328, 374
 ——講堂 89, 94, 328
 香蓮寺 159, 174, 209, 269
 国昌寺 20, 46, 372
 黒石寺 346
 五台山 161, 172
 己高山寺 37, 109, 110, 117, 124 ~ 134, 143,
 150, 163, 262, 266, 267, 272, 366
 狛坂(寺) 32, 33
 衣川庵寺 16
 金剛勝院 125
 金剛定寺 31, 150

金剛心院 208
 金剛輪寺 9, 174, 193, 209, 260
 金勝山大菩薩寺 32
 金勝寺 7, 31 ~ 33, 115, 134, 307, 308, 311,
 334, 341, 342, 345, 348 ~ 352, 367
 金龍院 297

さ

財賀寺 174, 288, 290, 291
 西教寺 263
 西光寺 175, 239, 240
 最勝妙法寺 34, 133
 西大寺 21, 31, 46, 47
 西明寺 260
 佐久奈度神社 208, 347
 佐波加刀神社 346
 山王院 →延暦寺
 三宮社 →日吉社

し

塩津港遺跡 346
 志賀山寺 31
 赤後寺 86, 104, 192
 石道寺 8, 26, 37, 109, 125 ~ 127, 139, 163,
 203, 219, 247 ~ 249, 253 ~ 258, 260, 261,
 266 ~ 268, 273, 323, 325, 363
 舎那院 202, 234, 241, 385, 386
 充滿寺(西野薬師堂) 25, 26, 162, 163, 202
 ~ 204, 217 ~ 219, 262, 263, 268, 269, 273,
 363
 常教寺 31, 165, 170, 192, 203
 勝持寺 66
 常住寺 240
 聖衆来迎寺 160, 208, 325
 勝常寺 60
 浄信寺 110
 松禪院 161, 169, 170, 182
 正福寺 281, 282, 288, 292 ~ 297, 323
 聖林寺 61, 89 ~ 94, 102
 新宮神社 297
 神宮禪院 →日吉社
 神護寺 94, 190, 191, 370

円教寺 202, 234, 241
 延祥寺 372
 円満寺 126, 127
 延暦寺 5, 7～9, 38, 92, 126, 157～163, 165
 ～167, 169～182, 192, 193, 195, 196, 202,
 207～214, 216, 220～225, 239～244, 263
 ～266, 269, 270, 272, 273, 278, 280, 304,
 308, 312, 321～328, 330～332, 334, 335,
 344, 350, 361, 376, 387
 ——一乗止観院 158, 165, 170, 171, 210,
 212, 213, 216, 222, 224, 263, 312, 321,
 326, 330, 331, 350
 ——飯室院不動堂 324
 ——経蔵 222, 223, 321
 ——黒谷 181
 ——講堂 176, 195
 ——根本中堂 157, 159, 162, 163, 165,
 171, 182, 207, 210, 211, 216, 220～225,
 239～242, 264, 266, 269, 321～323, 325
 ～327, 330～332, 376
 ——西塔 174, 179, 195, 242, 322, 361
 ——西塔釈迦堂 242, 322, 361
 ——山王院 170, 344
 ——常行三昧堂 174～176, 179, 180, 195,
 196, 209
 ——神宮寺 324
 ——随自意堂 193
 ——前唐院 176
 ——惣持院 223
 ——大講堂 322
 ——東塔 174, 179, 195, 196, 209, 214, 221
 ——法華総持院 161, 172
 ——無動寺 324
 ——文殊堂 222, 321
 ——薬師堂 222
 ——横川 174, 328, 387
 ——横川中堂 387
 ——楞嚴三昧院 174
 円隆寺 202

お

近江国分寺 23, 116, 165, 171, 269

近江国分尼寺 20, 46
 小江神社 113
 大島奥津島神社 34, 307, 334
 大島奥島神社神宮寺 334
 大見神社 346
 大神神社 89
 大御輪寺 89, 90
 岡寺 22
 小川廃寺 16
 奥島神宮寺 34
 小槻大社 305～307, 347, 348
 小津神社 311
 園城寺 5, 7, 15, 160, 162, 167～170, 178～
 182, 192, 233, 234, 243, 265, 278
 ——唐院 181

か

春日神社 240, 306
 勝尾寺 192
 金居原薬師堂 198, 199, 205～207, 209, 218
 ～221, 224, 263, 264, 273
 竈門山寺 215
 上醍醐薬師堂 192, 195
 蒲生堂廃寺 187
 川原観音堂 17
 観慶寺 240
 元興寺 309, 334
 菅山寺 26, 364
 観心寺 190, 191
 岩船寺 203, 236
 観音寺 90, 93, 126, 366, 373, 387

き

祇園社（祇園感神院） 240, 241, 374
 玉泉寺 270
 清水寺 240, 241
 金峰山 19

<

久世廃寺 42
 弘福寺 132
 九品寺 221, 258, 259, 323

藤原道長	321
藤原師氏	239
藤原良房	161, 177, 321, 327
藤原頼忠	272
藤原頼通	321
武宗	158, 172
文屋真人浄三	90
ほ	
法教	21
宝慶	30
法宣	30
ま行	
満願禅師	21
満預	113, 272, 329
三津首百枝	324
源融	365
聞寂	116, 213
文徳天皇	161, 177
や〜わ	
倭建命・日本武尊・倭武皇子	309, 355, 367, 369, 375, 376
惟首	321
宥珍	126
余慶	224, 239
劉慎言	172
良源	8, 162, 163, 174, 211, 217, 223, 224, 241, 270~272, 321, 323, 333, 366
良弁	19, 20~23, 30~33, 46, 131, 243, 341, 348
和氣弘世	215

【寺 社 名】

あ

秋篠寺	92
朝田寺	328
集町観音堂	217
穴太廃寺	15, 16
阿弥陀寺	23, 40, 41, 47
安産寺	325, 327, 328, 330, 332
安祥寺	190, 191, 326
安念寺	110, 268
安楽寺	126

い

医王寺	25, 262
伊香具坂神社	109, 129
伊香具神社	128
石居廃寺	16
石塔寺	16, 187, 306
石馬寺	260
石山寺	5, 18~24, 29, 33, 44, 46~48, 131, 151, 157, 167, 171, 192, 203, 230, 231, 243, 244, 258, 260, 263, 341, 373
一乗止観院 →延暦寺	
一之宮神社	230
因幡薬師堂（平等寺）	234, 238
井口日吉神社	267
伊吹山護国寺	134, 310, 366, 371, 372, 387
伊吹山寺	309, 373
伊吹山四箇寺	372
飯室院不動堂 →延暦寺	
石清水八幡宮	272
伊波太岐神社	109, 129

う

上野庵寺	373
牛尾社 →日吉大社	

え

永昌寺	37, 234, 312, 325, 327, 329, 332
-----	----------------------------------

賢和 34, 133, 308, 334

こ

広円 116

孝謙上皇 20, 46

康尚 8, 235, 243, 244, 322

光定 171, 213, 330, 331

広智 116, 346

光澄 266

豪澄 9

已知帯成 22

さ

最澄（伝教大師） 7, 37, 86, 115, 116, 125,
126, 157, 158, 163, 165, 166, 170～172,
180, 207, 208, 210～212, 214～217, 220,
221, 224, 264, 266, 267, 315, 321, 323, 324,
330～333

佐伯宿禰今毛人 46

嵯峨天皇 166, 330

雀部浄人 22

三修 309, 371, 372

し

慈円 242

実忠 31, 150, 310

志斐連公万呂 22

修円 325

春全 125, 126, 267

淳仁天皇 20, 46

淳祐 243

静安 33, 34, 133, 349

章懐太子 345

静観 179

浄源 328

承澄 9

定朝 235, 237, 244

聖徳太子 17, 19, 23, 150, 281, 297

称徳天皇 341

聖宝 178, 180

聖武天皇 17, 19, 20, 22, 23, 33, 46, 131, 243

神功皇后 368

審祥 32

真忠 215

す

崇峻天皇 368

せ

清和天皇 161

そ

相応 179, 195, 324

蘇我馬子 368

尊意 162, 223, 270

尊賢僧正 20

た行

泰澄 125

忠快 9, 326

中信 241

伝教大師 →最澄

天智天皇 20, 31, 271

道忠 116, 213

徳一 115, 116

伴国道 321, 330

曇無讖 349

に

如静 160

仁康 328

仁忠 215, 216

仁明天皇 161, 177, 310, 349, 371, 372

は

法全 160, 346

ひ

日野資業 220

ふ

藤原三守 330

藤原武智麻呂 157, 309, 369

藤原仲麻呂 157, 369

索引

※註・図表をのぞく本文中より、「人名」「寺社名」「像名」「史料名」の4種類に
わけて抽出した
※「像名」のうち、本文中で一章を割いてとりあげている像は、該当章のページ
を太字で表記した

【人 名】		延法	267
		お	
	あ	大伴宿禰伯麻呂	46
麻田連陽春	157	息長丹生真人常人	22
安都雄足	22	か	
安都宿禰雄足	29	戒算	205
安円	271	麿坂王	368
安恵	271	上楯万呂	22
	い	願安	32, 34, 348
膳香瓦臣安倍	77, 128	鑑真	27, 67, 130, 362
伊香刀美	75, 128	き	
石田三成	126	喜慶	270
一乗忠	215, 324	義浄	349
	え	義真	158, 160, 214, 220, 325, 330, 331
恵勝	113	行基	17, 86, 125, 126, 133
恵美押勝	46	行表	116
会理	178, 180	金珍	158
延慶	369	く	
円載	158	空海	161, 162, 176～178, 190, 215
延最	214	空也	239
円修	158, 160, 214, 220, 325～327, 330	け	
延昌	239	慶尊	267
円澄	214, 330, 331	元簡	160
円珍	7, 159～163, 174, 179, 181, 209, 215, 220, 222, 223, 264, 265, 278, 321, 326, 331 ～333	賢憬	21, 325
円仁	7, 158, 159, 161, 163, 166, 172～180, 182, 193, 195, 205, 208～210, 217, 220, 222, 264, 265, 279, 280	賢真	34
		顕祚	179
		堅慧	158, 160, 220, 325～327
		元明天皇	37

◎著者略歴◎

高梨 純次 (たかなし じゅんじ)

昭和28年(1953) 京都市に生まれる

昭和54年(1979) 同志社大学大学院文学研究科文化史
学専攻博士前期課程修了

滋賀県立琵琶湖文化館, のちに滋賀
県立近代美術館に勤務

現在 公益財団法人秀明文化財団参事

【著書】

『近江の祈りと美』(サンライズ出版, 2010年)

おうみ こぞう
近江の古像

2014(平成26)年 8 月 1 日発行

定価: 本体9,000円(税別)

著 者 高梨純次

発行者 田中 大

発行所 株式会社 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355

電話 075-751-1781(代表)

印 刷 亜細亜印刷株式会社
製 本

©J. Takanashi

ISBN978-4-7842-1761-8 C3071